

第4章 参加と協働による環境保全への取り組み

「環境首都とくしま」の実現を目指し、地球温暖化対策をはじめとした各種環境施策や環境活動を一元的にバックアップするとともに、環境学習や環境教育を総合的にサポートするための「産・学・民・官」の連携・協働による本格的な環境活動拠点として、平成22年4月に「環境首都とくしま創造センター（エコみらいとくしま）」を開設し、このセンターを中心に、県民総ぐるみによる環境活動や環境学習の推進に取り組んでいます。

環境首都とくしま創造センター（エコみらいとくしま）の概要

開設時期	平成22年4月1日
開設場所	徳島市東沖洲一丁目23番地
面積・施設等機能	1階 事務室 75.75㎡、会議室 16.87㎡ 2階 会議室 45.9㎡ 事務所、会議室、展示スペース、周辺は環境学習のフィールド
特徴	・徳島県と特定非営利活動法人環境首都とくしま創造センターが協働で運営 ・「環境活動実践センター機能」「環境学習サポートセンター機能」、「地球温暖化防止活動推進センター機能」の3つの機能を一箇所に集約して、環境学習サービスのワンストップ化の実現 ・子どもから高齢者まで、すべての世代が、気軽に環境について学べることや、あらゆる方々が、環境を合い言葉に、「集い・語らい・共に行動する」ことができる場を目指す。
環境活動実践支援機能	産・学・民・官が協働で実施する様々な環境活動・環境施策の企画から実践までを幅広く支援。 ・社会実験や実証実験など実践に結びつく調査・研究、環境NPO等の支援・交流
環境学習サポートセンター機能	学校や地域における環境学習・教育を総合的・体系的に推進するとともに、地域環境力を高めるための人づくりを支援するなど、環境学習・教育を人材・知識面等から総合的にサポート ・とくしま環境学講座等の各種環境関係講座の開催 ・環境関係の図書、DVDソフト、資料、展示パネルの貸出 ・地域や職場、学校での環境に関する講座、セミナー、イベント等に専門的知識を備えた環境アドバイザーの派遣 ・インターネット上のウェブサイト「とくしま環境首都学校」において、県内で実施される各種環境関係イベント、講座等を紹介
地球温暖化防止活動推進センター機能	本県における地球温暖化防止に関する「啓発・広報活動」、「調査・分析活動」「情報提供」「民官団体の活動支援」等を総合的に支援 ・地球温暖化防止活動推進員等の活動支援 ・家庭部門や民生業務部門での温室効果ガス削減活動を支援 ・「クリーンエネルギーの導入」「低炭素交通システムの推進」「カーボンオフセットの推進」等の活動支援 ※地球温暖化対策推進法に基づき、地球温暖化対策に関する普及啓発等の推進主体として「特定非営利活動法人 環境首都とくしま創造センター」を地域・地球温暖化防止活動推進センターに指定。

第1節 環境教育・環境学習の充実

1 環境教育・環境学習の推進

環境保全に対する県民意識を高め、環境保全活動への参加を促していくためには、長期的な視野に立った環境教育や環境学習の推進が必要です。本県では、県民・事業者・行政が連携・協働して環境学習を総合的・体系的に進めるため、「徳島県環境学習推進方針～とくしま環境学びプラン～」を平成17年2月に策定しました。

この方針に基づき、平成24年度においては次の施策を実施しました。

（1）環境学習実践モデル事業

「徳島県環境学習推進方針～とくしま環境学びプラン～」の方針を踏まえ、平成19年3月に作成された「とくしま環境学習プログラム」を活用したモデル的な取り組みに対し、支援を行いました。

県内の5団体が「徳島県環境学習推進方針～とくしま環境学びプラン～」で示された本県で重点的に取り組むべき分野である「ごみ」「生きもの」「水環境」「太陽（エネルギー・地球温暖化）」をテーマに「とくしま環境学習プログラム」を活用した環境学習を行い、「とくしま環境学習フォーラム」（平成25年2月開催）でその成果を発表しました。

(2) 「新 学校版環境ISO」認証取得の推進

平成24年度から移行した「新 学校版環境ISO」では、従来の学校における節電・ごみ分別・リサイクル活動などに継続的に取り組むとともに、これらの取組を地域に広げ、児童・生徒が地域に出向いて、環境美化活動や自然観察などの体験活動を積極的に行い、学校における環境学習で学んだことを、家庭や地域にも波及させていくことを目的としています。

実施校は、必須項目（節電・ごみ分別・リサイクル活動）と、選択項目（①地域に広げる節電・ごみ分別・リサイクル活動、②地域に出向き深める環境保全・環境美化に関する活動、③地域に関連したテーマを選び、深めていく環境学習活動、④その他運営委員会がふさわしいと認めたテーマによる活動）から1つ以上を選択し、地域や学校の状況に応じた取組を推進します。認定されると認定証（3年間有効）が交付されます。

平成24年度には、小・中学校、高等学校、特別支援学校を含めて125校が「新 学校版環境ISO」の認定を受け、従来の「学校版環境ISO」の認定校と合わせて239校が活動をしています。

表2-4-1 平成24年度「新 学校版環境ISO」認定校

校 種	市 町 村 名	学 校 名
小 学 校 (68校)	徳 島 市	内 町 小 学 校
		佐 古 小 学 校
		津 田 小 学 校
		論 田 小 学 校
		方 上 小 学 校
		飯 谷 小 学 校
		川 内 北 小 学 校
		川 内 南 小 学 校
		国 府 小 学 校
		南 井 上 小 学 校
		北 井 上 小 学 校
	鳴 門 市	林 崎 小 学 校
		桑 島 小 学 校
		里 浦 小 学 校
		鳴 門 東 小 学 校
		鳴 門 西 小 学 校
		大 津 西 小 学 校
		堀 江 北 小 学 校
	小 松 島 市	南 小 松 島 小 学 校
		千 代 小 学 校
		児 安 小 学 校
		芝 田 小 学 校
		坂 野 小 学 校
	阿 南 市	橘 小 学 校
		椿 泊 小 学 校
		平 島 小 学 校
		岩 脇 小 学 校
	吉 野 川 市	牛 島 小 学 校
		森 山 小 学 校
		鴨 島 小 学 校
		飯 尾 敷 地 小 学 校
		西 麻 植 小 学 校
		知 恵 島 小 学 校
		川 島 小 学 校

校 種	市 町 村 名	学 校 名
	吉 野 川 市	学 島 小 学 校
		種 野 小 学 校
	阿 波 市	御 所 小 学 校
		土 成 小 学 校
		八 幡 小 学 校
		市 場 小 学 校
		久 勝 小 学 校
	美 馬 市	江 原 北 小 学 校
		清 水 小 学 校
		岩 倉 小 学 校
		喜 来 小 学 校
		三 島 小 学 校
	三 好 市	王 地 小 学 校
		芝 生 小 学 校
		三 縄 小 学 校
		大 野 小 学 校
		下 名 小 学 校
		西 井 川 小 学 校
		井 内 小 学 校
		櫟 生 小 学 校
		東 祖 谷 小 学 校
		吾 橋 小 学 校
	勝 浦 町	生 比 奈 小 学 校
	石 井 町	高 原 小 学 校
		高 川 原 小 学 校
	松 茂 町	喜 来 小 学 校
	北 島 町	北 島 北 小 学 校
		北 島 小 学 校
		北 島 南 小 学 校
	上 板 町	東 光 小 学 校
		高 志 小 学 校
	つるぎ町	貞 光 小 学 校
	東みよし町	加 茂 小 学 校
		三 庄 小 学 校
中 学 校 (28校)	徳 島 市	城 東 中 学 校
		入 田 中 学 校
	鳴 門 市	鳴 門 市 第 一 中 学 校
		瀬 戸 中 学 校
		大 麻 中 学 校
	小 松 島 市	坂 野 中 学 校
	阿 南 市	加 茂 谷 中 学 校
		福 井 中 学 校
		椿 町 中 学 校
		新 野 中 学 校
	吉 野 川 市	鴨 島 東 中 学 校
		鴨 島 第 一 中 学 校
		川 島 中 学 校

校 種	市 町 村 名	学 校 名
	吉 野 川 市	山 川 中 学 校
	美 馬 市	木 屋 平 中 学 校
	三 好 市	三 野 中 学 校
		東 祖 谷 中 学 校
		西 祖 谷 中 学 校
	勝 浦 町	勝 浦 中 学 校
	上 勝 町	上 勝 中 学 校
	佐那河内村	佐 那 河 内 中 学 校
	石 井 町	石 井 中 学 校
		高 浦 中 学 校
	神 山 町	神 山 東 中 学 校
	北 島 町	北 島 中 学 校
	藍 住 町	藍 住 東 中 学 校
	県 立	県 立 城 ノ 内 中 学 校
		県 立 川 島 中 学 校
高等学校・特別支援学校 (29 校)	県 立	城 東 高 等 学 校
		城 北 高 等 学 校
		城 ノ 内 高 等 学 校
		城 西 高 等 学 校
		徳島科学技術高等学校(全日制)
		徳島科学技術高等学校(定時制)
		小 松 島 西 高 等 学 校 勝 浦 校
		富 岡 西 高 等 学 校
		阿 南 工 業 高 等 学 校
		那 賀 高 等 学 校
		鳴 門 高 等 学 校 (全 日 制)
		鳴 門 渦 潮 高 等 学 校
		板 野 高 等 学 校
		吉 野 川 高 等 学 校
		川 島 高 等 学 校
		阿 波 高 等 学 校
		穴 吹 高 等 学 校
		美 馬 商 業 高 等 学 校
		貞 光 工 業 高 等 学 校
		池 田 高 等 学 校 (全 日 制)
		池 田 高 等 学 校 (定 時 制)
		盲 学 校
		聾 学 校
		板 野 支 援 学 校
		阿 南 支 援 学 校
		国 府 支 援 学 校
		み な と 高 等 学 園
		鴨 島 支 援 学 校
		池 田 支 援 学 校

(3) エコリーダー養成講座

「新 学校版環境ISO」の認証取得を目指す学校の環境教育担当の教員などに対して、第1回目は『からだで感じて、からだで学ぼう』子どもたちの身近な環境学習・環境活動をテーマとして子どもたちにできる地域活動体験プログラムについて講話を行いました。第2回目は『アドプト・アート・森づくり・IT』創造性あふれる子どもを育てる』をテーマとして神山町における取組について講話を行いました。

(4) 環境教育講座の開催

環境教育の充実に向けて、教員の指導力の向上を図るため、県教育委員会では平成5年度から、環境教育講座を開催し、実践事例の発表や環境教育の内容についての研修などを実施しています。

平成24年度は、県内の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員を対象に、徳島県立総合教育センターにおいて「環境学習プログラムを取り入れた環境教育」についての研修を行いました。

(5) 環境首都あどふと・エコスクール

互いに連携・協働しながら主体的に行動する人材の育成のため、道路や河川で行われているアドプト（養子縁組）方式を学校の環境学習活動に適用し、「地域の人づくりを地域の企業等が支える」という考えの下、事業者・民間団体が「里親」となり、「養子」である学校の環境学習活動を支援する制度「環境首都 あどふと・エコスクール」を平成19年度に創設しました。平成24年度は中学校1校と地域の事業者3社とが養子縁組の協定を結び、事業者からの人材派遣や教材費等の支援により、地域に根ざした環境学習を効果的に実施することができました。

(6) こどもエコクラブ事業

環境省が進める「こどもエコクラブ事業」は小中学生なら誰でも参加できる環境活動です。参加した子どもたちは、自然観察や調査、リサイクル活動など、地域の中で身近にできる環境活動に自由に取り組みます。平成24年度には県内で10クラブ883人が組織されて、各地域で活動を展開しました。

表2-4-2 平成24年度 こどもエコクラブ登録数

市町村名	クラブ数	メンバー人数	サポーター人数
徳島市	6	615	84
鳴門市	1	25	7
阿南市	1	17	1
阿波市	1	200	200
北島町	1	26	4
合計	10	883	296

※「こどもエコクラブ」は、2人以上の仲間（メンバー）と、活動を支える1人以上の大人（サポーター）で構成されます。サポーターは、子どもたちの自主的な活動をあたたかくサポートする高校生以上の方で、高校生はメンバーとしても、サポーターとしても登録することができます。

(7) 佐那河内いきものふれあいの里の自然環境学習

佐那河内いきものふれあいの里は、指定管理者であるNPO 法人大川原が自然観察指導員による自然環境学習を実施しています。その内容としては、野鳥の観察会、低山ハイキング、そばづくり等の体験、希少動植物の観察など様々なメニューがあります。また、小中学校や民間団体などに対する環境学習も行っております。

表2-4-3 自然観察会等の実施状況

学 習 内 容	平成22年度		平成23年度		平成24年度	
	回 数	参加者数	回 数	参加者数	回 数	参加者数
自 然 観 察 会	47	891	44	740	30	649
団 体 等 観 察 会	26	868	26	848	31	1,081
計	73	1,759	70	1,588	62	1,730

(8) 環境アドバイザーの派遣

環境に関する専門家を環境アドバイザーとして任命し、県民や事業者の皆さんが自主的に実施する講演会や学習会、地域活動などに派遣しています。平成24年度には17名の方を環境アドバイザーとして任命し、合計71回派遣しました。（表2-4-4）

表2-4-4 平成24年度徳島県環境アドバイザー派遣状況

年月日	派遣場所	内 容	参加人数
平成24年4月14日	阿波市役所	生ゴミ処理について	45
平成24年4月16日	神山町下分公民館	環境活動を活かしたまちづくり	58
平成24年4月21日	芝田多目的センター	楽しく省エネを始めよう	31
平成24年4月22日	江川湧水源	「水」を利用した「まちづくち」	40
平成24年5月17日	川田中小学校	ネイチャーゲーム	37
平成24年5月22日	羽ノ浦くるみ保育所	ネイチャーゲーム	37
平成24年6月2日	あすたむらんど	ゴーヤみどりのカーテン	38
平成24年6月4日	吉野川干潟	干潟観察（環境保全）	166
平成24年6月11日	長生保育所	ネイチャーゲーム	35
平成24年6月13日	三好市池田総合体育館	食と環境について	60
平成24年6月14日	吉野川干潟	干潟の生き物（環境保全）	38
平成24年6月15日	津田中学校	地球環境と温暖化防止対策	30
平成24年6月20日	八万東保育所	ネイチャーゲーム	24
平成24年6月20日	津田中学校	河川、海の環境	25
平成24年6月21日	内町小学校	ネイチャーゲーム（城山）	38
平成24年6月25日	徳島市青少年交流プラザ	干潟の重要性と環境問題	76
平成24年6月26日	徳島市青少年交流プラザ	干潟の重要性と環境問題	76
平成24年6月27日	あすたむらんど	企業における環境への取組	90
平成24年6月27日	徳島市新町川水際公園	カニとヤドカリの観察	44
平成24年6月30日	吉野川干潟	住吉干潟での生き物観察	60
平成24年7月11日	羽ノ浦くるみ保育所	ネイチャーゲーム	39
平成24年7月17日	井川農産物加工開発センター	暮らしと環境、はじめよう3R	60
平成24年7月18日	藍住町正法寺川	生き物から考える正法寺川の環境	94
平成24年7月18日	小松島市総合福祉センター	夏に向けての省エネ	29
平成24年7月26日	吉野川干潟	干潟の生き物（環境保全）	38
平成24年7月27日	吉野川干潟	吉野川干潟の生き物	12
平成24年7月28日	コープ住吉	親子で学べる環境学習	22
平成24年7月30日	吉野川合同庁舎	夏の省エネ対策	44
平成24年7月30日	立江川河川敷	干潟観察（環境保全）	80
平成24年8月6日	総合教育センター	環境授業の進め方	20
平成24年8月6日	加茂名南小学校	温暖化について	20
平成24年8月20日	吉野川干潟	干潟の生き物（環境保全）	35
平成24年8月22日	第十農村公園	ネイチャーゲーム	33
平成24年8月30日	神山森林公園	ネイチャーゲーム	74
平成24年8月30日	神山森林公園	ネイチャーゲーム	74
平成24年9月5日	北島田保育所	ネイチャーゲーム	21
平成24年9月7日	城東小学校	力を合わせて自然をさぐろう	152
平成24年9月7日	城東小学校	力を合わせて自然をさぐろう	152
平成23年9月10日	大鳴門橋架橋記念館エディ	水環境、環境全般	15
平成23年9月18日	徳島中学校	水環境の現状	163
平成23年9月25日	徳島中学校	新町川について	163
平成24年10月11日	鷺敷小学校	エコ体操、エコカルタ	45
平成24年10月16日	渭東保育所	ネイチャーゲーム	33
平成24年10月27日	小松島市しおかぜ公園	自然と触れ合える遊び	122
平成24年10月31日	勝浦川干潟	干潟観察（環境保全）	31
平成24年11月13日	藍住町正法寺川	生き物から考える正法寺川の環境	94
平成24年11月13日	藍住町正法寺川	生き物から考える正法寺川の環境	94
平成24年11月15日	勝浦町住民福祉センター	リサイクル、エコについて	70
平成24年11月22日	宝田幼稚園	ネイチャーゲーム	40

平成24年11月28日	加茂保育所	ネイチャーゲーム	25
平成24年11月30日	吉野川干潟	野鳥観察（環境保全）	72
平成24年12月12日	橋幼稚園	ネイチャーゲーム	13
平成24年12月13日	新野東幼稚園	ネイチャーゲーム	9
平成24年12月19日	宝田幼稚園	ネイチャーゲーム	40
平成25年1月11日	橋幼稚園	ネイチャーゲーム	22
平成25年1月16日	長生保育所	ネイチャーゲーム	17
平成25年1月17日	林崎小学校	ネイチャーゲーム指導法等	15
平成25年1月24日	新野東幼稚園	ネイチャーゲーム	8
平成25年1月24日	新野幼稚園	ネイチャーゲーム	31
平成25年1月25日	応神小学校	正法寺川について	50
平成25年1月25日	論田保育所	ネイチャーゲーム	23
平成25年1月26日	あわぎんホール	フードマイレージ	21
平成25年1月28日	大野保育所	ネイチャーゲーム	17
平成25年1月29日	しおかぜ公園	野鳥観察	67
平成25年1月31日	しおかぜ公園	野鳥観察	65
平成25年2月1日	池田中学校	人と環境にやさしい社会作り	110
平成25年2月5日	北島田保育所	ネイチャーゲーム	22
平成25年2月6日	林崎小学校	ネイチャーゲーム	55
平成25年2月12日	八万東保育所	ネイチャーゲーム	23
平成25年2月20日	渭東保育所	ネイチャーゲーム	33
平成25年2月25日	上勝町千年の森ふれあい館	山林環境の保全	13

（９）ビオトープアドバイザーの派遣

ビオトープの専門家をビオトープアドバイザーとして任命し、市町村・事業者及び各種団体等が開催するビオトープの保全・創出に関する学習会や説明会等に派遣し、ビオトープへの取り組みについての基本的な考え方を指導し、また地域の合意形成や具体的な企画立案等を効率的に進めています。平成24年度には14名の方をビオトープアドバイザーとして任命し、9回派遣しました。（派遣状況は第2部1章1節27ページ表2-1-5）

（１０）環境学講座等の開講

環境首都とくしまの実現に向け、産学民官が連携・協働し、県民総ぐるみで環境活動に取り組むため、その主体となる、環境に関する高い意識と行動規範・実践力を持つ人材を養成するため、県民の皆様を対象とした「とくしま環境学講座」・「とくしま環境マイスター講座」を開講しました。（表2-4-5）

表2-4-5 平成24年度とくしま環境学講座開催状況

年月日	講 座 名	参加者数
平成24年5月27日～7月8日	とくしま環境学講座「エネルギーセミナー」	98名
平成24年10月11日～12月13日	とくしま環境学講座「自然エネルギーセミナー」	337名
平成24年10月24日 平成25年 2月22日	とくしま環境マイスター講座「環境にやさしい人づくり・地域づくり」	43名

2 環境月間・3R推進月間

環境への負荷の少ない持続的発展が可能な循環型社会の構築に向けて、国民一人ひとりの環境保全に係る意識の高揚を図るため、環境月間・3R推進月間に県民や事業者、各種民間団体の協力のもと、さまざまな行動を行いました。

（１）ごみゼロの日キャンペーンの実施

環境美化に対する意識を高めるため、5月30日の「ごみゼロの日」を中心に、「ごみゼロの日キャンペーン」を実施しました。関係機関や団体、事業所、学校に清掃活動と呼びかけ、環境美化意識の向上を図りました。

（２）「マイバック持参キャンペーン」の実施

循環型社会の形成を推進するため、平成24年10月1日～31日に吉野川市で14事業者、市民団体、行政が一体となって「吉野川市マイバック持参キャンペーン」を実施し、レジ袋削減の啓発活動に取り組みました。

３ 瀬戸内海環境保全月間

瀬戸内海の環境保全思想の普及、意識の高揚を図るため沿岸府県市において昭和48年度から毎年6月を環境保全月間と定め、講習会の開催、広報用印刷物の作成配布等各種普及活動事業を実施しています。

本県における、平成24年度瀬戸内海環境保全月間（6月1日～6月30日）の実施状況は次のとおりです。

（１）啓発用ポスターの配布・掲示

瀬戸内海環境保全協会作成の環境保全啓発用ポスターを各種団体、事業場等に配布・掲示しました。

（２）工場再点検

環境月間に合わせ、工場・事業場の立入検査を実施するとともに、瀬戸内海地域内の事業場、協定工場による排水処理施設の整備状況等について自主点検の実施を推進しました。

（３）海辺の教室

瀬戸内海環境保全協会、徳島県漁業協同組合連合会、鳴門市、北灘漁業協同組合の協力を得て、北灘西小学校（鳴門市）の17名を対象に海辺の教室を開催しました。

４ 河川愛護思想の普及（水生生物による水質調査）

身近な河川の水質を知るとともに、河川の水質保全の必要性を認識してもらうこと及び水質環境の基礎的情報を得ることを目的として国土交通省では昭和59年度から、県では昭和60年度から、徳島市では昭和61年度から、小・中学生等一般市民の参加を得て水生生物による水質調査を実施しています。

平成24年度は、河川愛護月間（7月1日～7月31日）等において、国土交通省では県下の主要一級河川である穴吹川等で、県では県下の小・中学生等へ呼びかけ鮎喰川等15河川で調査が行われました。

表2-4-6 水生生物調査実施状況

区 分	年 度	河 川 数	地 点 数	参加団体数	参加人員
国 土 交 通 省	H15	3	6	17	306
	16	3	7	17	471
	17	3	4	11	304
	18	2	3	3	128
	19	3	8	10	223
	20	4	9	11	522
	21	2	2	2	115
	22	3	5	8	132
	23	2	4	8	132
	24	3	5	6	139
県	H15	27	73	32	935
	16	24	52	33	854
	17	19	39	30	895
	18	30	47	33	1,055
	19	28	48	30	664
	20	32	57	39	1,172
	21	25	44	30	827
	22	20	30	16	438
	23	21	27	18	471
	24	15	22	17	258

5 今後の取り組みの方向性

「環境首都とくしま創造センター（エコみらいとくしま）」を中心に、平成17年12月に策定した「徳島県環境学習推進方針～とくしま環境学びプラン～」に基づき、環境学習プログラムの普及や環境講座の開設などにより、環境学習を総合的・体系的かつ効果的にすすめるとともに、各主体の連携・協働を推進します。

また、環境アドバイザーやビオトープアドバイザーの派遣などにより、地域における環境活動を支援します。

さらに、こどもエコクラブ事業などにより、実践的な環境学習活動を推進します。

併せて、県をはじめとした行政や、教育機関、環境団体、企業が実施する環境に関する各種講座や催しなどについて、一元的に情報を収集し、提供する仕組みづくりを行います。